

L型擁壁の安全・完全・省力化据付施工法

SPL工法



新潟県 Made in 新潟 新技術(シニア) 【登録番号 18D1041】

① 安全な施工

Safety

擁壁をクレーンなどで吊上げる時間が在来工法に比べ非常に少ないため、施行の「安全性」が優れています。

② 完全な滑動安定性

Perfection

擁壁躯体と基礎コンクリートの密着性が高められるため、在来工法と比較して「完全」な滑動安定性が確保できます。

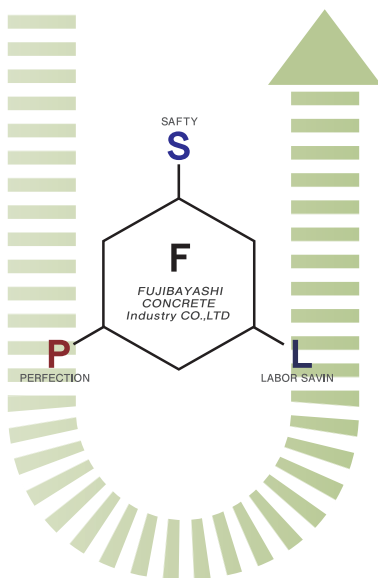
③ 施工の省力化

Labor Saving

専用治具を使用し擁壁高の大小による施工手間の違いが少なく、一律化された作業工程で施工できるため、施工の「省力化」が期待できます。



- クレーンなどでの吊上げは、擁壁仮置き時のみ、何度も空練りモルタルを敷き直す手間は要りません。
- 吊上げ作業が少ないので、作業員の方にも安全です。



- モルタルミルクは充填性がよく、自然落下で注入できます。



- スミ出し位置に合わせて支承版上に仮置き

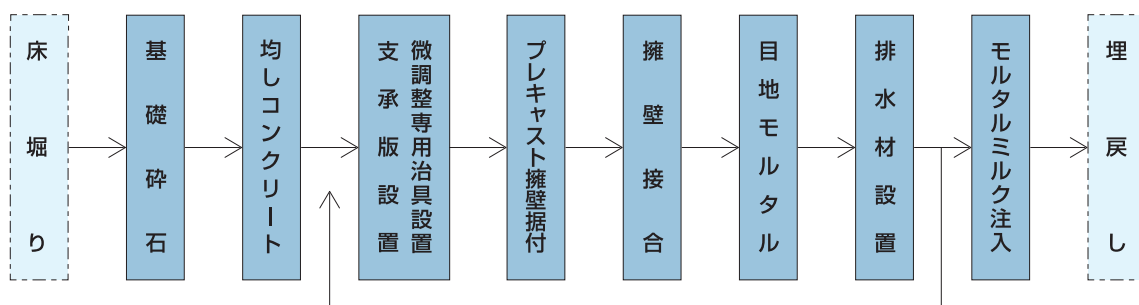
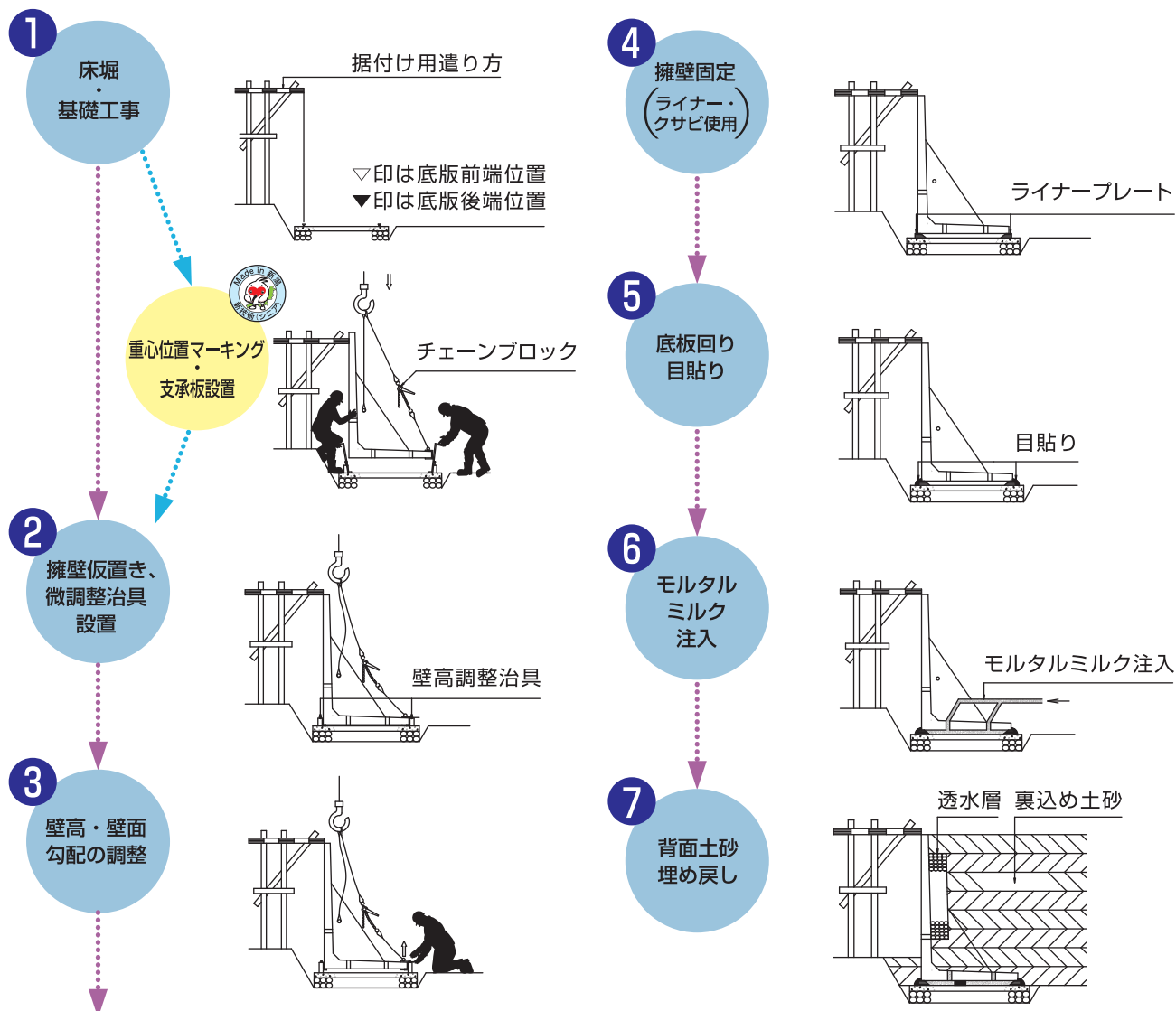


- 微調整専用治具/横スライド爪付油圧ジャッキでの調整



- 微調整専用治具(油圧ジャッキ)を使用した手元での簡単な作業で、正確な微調整が可能です。

施工フローチャート



モルタルミルク配合例

モルタルミルクの示方配合(例)

(1㎡当り)

配合率	セメント	細骨材(砂)	水	水セメント比 W/C	フロー値
1:1.5	666kg	999kg	392kg	58.9以下	250±25mm

(注) 上表は配合例であり、実際の現場配合はフロー値を確保できるよう、製造会社と打ち合わせを行ってください。